



令和元年度「新・紀州林業への挑戦」民国連携研修会

“意欲と能力のある林業経営体の育成”

再造林・保育作業の省力化による森林育成技術の革新

～再造林及び保育作業量の増大への対応～



1 日 時 令和元年8月9日（金） 9：00～16：00（受付）8：30

2 場 所 （講演）紀南文化会館（和歌山県田辺市新屋敷町1番地）
（現地）宮城川国有林 60 林班

3 主 催 和歌山県・和歌山森林管理署

4 要旨

和歌山県では、地域林業の活性化に向けて、民国が連携して地域の課題を解決するなど、低コストで効率的かつ効果的な林業活動に取り組んでいます。

県では、現在、戦後植林された森林が伐採期を迎えていることに加え、経済林と環境林に区分した森林ゾーニングをもとに「森林・林業総合戦略」を策定し、施策の選択と集中により、計画的な素材生産に取り組み、生産量は年々増加しています。

県内各地で伐採面積が増加する中、再造林・保育に係る作業量も併せて増加しています。しかしながら、現状では林業の担い手不足が進んでおり、こういった増加する保育作業に対応していくため、労働力の確保と併せ、再造林・保育作業の省力化が喫緊の課題であります。

今回の研修では、「再造林・保育作業の省力化による森林育成技術の革新」をテーマに、全国の導入事例を幅広く紹介し、和歌山県に合った効率的な再造林及び保育の手法を検討します。

現地研修では、国有林のフィールドを活用し、冬下刈りやドローンを活用した森林管理など、再造林・保育作業の省力化に向けて、参加者全員で検証を行います。

5 基調講演

① 「再造林・保育のこれまでとこれから」

講師：林野庁 森林整備部 整備課長

長崎屋 圭太（ながさきや けいた）

経歴：平成4年度林野庁に入庁。北海道森林管理局十勝西部森林管理署東大雪支署（支長）のほか、大豊町役場企画振興室や自治省（現総務省）財政局、熊本県森林整備課（課長）など地方勤務の経験も豊富。平成27～29年度は林野庁計画課において林地台帳、森林環境税、森林経営管理法などの企画・制度設計に携わる。平成30年度に林野庁造林間伐対策室長、平成31年度から林野庁整備課長を務める。



② 「低コストと省力化を見据えた保育技術の展開」

講師：国立研究開発法人 森林総合研究所 林業生産技術研究担当・研究ディレクター 宇都木 玄（うつぎ はじめ）

経歴：平成4年度森林総合研究所に入所。北海道支所チーム長、植物生態研究領域チーム長を経て、現在、研究ディレクター（林業生産技術研究担当）。近年は、循環型林業に欠かせない優良苗の安定供給と、下刈り省力化による一貫作業システム体系の開発に関する研究に尽力。農学博士。



6 保育作業の省力化に向けた各地の取り組み

① 「冬下刈の比較対照試験の報告」

講師：四国森林管理局 森林技術・支援センター所長
鷹野 孝司（たかの たかし）

② 「林業試験場におけるエリートツリー採種園造成の取り組み」

講師：和歌山県林業試験場
的場 彬通（まとば あきつ）

③ 「和歌山森林管理署における低コスト造林の取り組み」

講師：和歌山森林管理署 地域林政調整官
木村 崇人（きむら たかと）

7 現地研修

- ① 「保育作業の省力化にかかる手法の実演」（和歌山森林管理署）
- ② 「小型無人航空機による森林施業管理手法の実演」（上道キカイ株式会社）

8 次 第

- 9:00 - 9:10 主 催 挨拶
- 9:10 - 9:50 基調講演①「再造林と保育作業の現状と今後の課題について」
- 9:50 - 10:30 基調講演②「低コストと省力化を見据えた保育技術の展開」
- 10:30 - 10:40 休 憩
- 10:40 - 11:20 事例紹介①「冬下刈の比較対照試験の報告」
- 11:20 - 11:40 事例紹介②「林業試験場における低コスト造林の取り組み」
- 11:40 - 12:00 事例紹介③「和歌山森林管理署における低コスト造林の取り組み」
- 12:00 - 13:00 昼食・移動
- 13:00 集 合（林業試験場グラウンド）
- 13:00 - 14:30 移 動（乗り合わせにより各自移動）
- 14:30 現 地 集 合
- 14:30 - 16:00 現 地 研 修
- 16:00 閉 会

9 参加費 無料

※ただし、弁当（お茶付き）を申し込まれる方は1000円を当日集金します。

※昼食・移動の時間が短いため、弁当（お茶付き）を申し込むか、あらかじめ弁当をご用意のうえご参加下さい。スムーズな進行のためにご協力をお願い致します。



（冬下刈りの施業状況）



（ドローンによる森林巡視）



（大苗植栽後の成育状況）